

2021年度事業報告

少子化対策

少子化対策委員会を設置し保育所等定員割れの状況を調査いたしました。やはり少子化の波は予想以上に早く高く私たちに襲っているのが現状です。特に、外国の方々が多く住む区、集中的に新園を増園した区に影響が出ており、横浜市児童福祉審議会においても議題にあげさせていただきました。横浜市は将来人口推計の下方修正も行なっており、迅速な対応はしておりますが、定員割れを起こしている保育所等に対する具体的支援は、新規に開園した施設にしか行っておらず、非常に不安が残る状況です。

障がい児保育、要配慮児保育

多くの先生から、加配の申請の苦勞をお聞きしています。横浜市と園の見解の相違から、加配が必要な児童に対して適切な対応ができていないケースが多い状況です。原因は、現場の意見が加配申請に反映されない、担当者が現場での確認をしない、1歳半、3歳児健診の結果が園に知らされない、などが挙げられます。意見交換会では、この問題を横浜市との重要課題として取り上げました。

保育士確保対策

株式会社ネクストビート：保育士バンク！は、横浜市と「保育人材確保における連携、協議の取り組みに関する協定」を締結したことから、横浜市私立保育園こども園園長会（以下、園長会と略す）はその事業を推進することとしました。締結後の具体的措置を明確にする為にも、まずは、保育士バンク！と合同で就職相談会を令和4年9月4日に開催する予定とし、養成校との連携を取り付けるよう働きかけています。3月24日の養成校との会議でも議題として取り上げました。まずは、来場者拡大に力を入れたいと思います。

登園自粛と保育料免除

感染拡大を予防する観点から、登園を自粛した児童に対しての保育料免除の働きかけを横浜市に行いました。特にオリンピック・パラリンピックが開催された7月8月には、感染者が急増し一刻も早い対処が必要だったため、横浜市には大変無理なお願いをしております。急な判断ではありましたが、保護者のご協力もあり、混乱を避けることはできたと思います。

職域ワクチン接種

年度当初、ワクチン確保不足から、保育所職員の優先接種が実現しなかったため、園長会としてもワクチンの確保に奔走しました。TKP横浜会場（モデルナ）と鶴見汐田総合病院（ファイザー）を接種会場としましたが、神奈川県でのモデルナワクチンの供給の見通しが立たなくなった為、急遽、横浜TKPの会場は、東京都の渋谷TKP会場に変更いたしました。その経緯の中でも900名近くが接種を行うことができ、秋の行事準備などに支障が出ないように取り計らいました。

横浜市市長選挙における市長候補者との会談

8月22日に行われました横浜市市長選におきましては、現市長の山中竹春氏ほか、小此木八郎氏、田中康夫氏、福田峰之氏と会談いたしました。横浜市の保育事業に対して、更に手厚い対応をしていただける旨のお約束をいただいております。

その他の事業

- ・キャリアアップ研修 幼児保育 乳児保育研修を執り行いました。
- ・要望書を提出しております。詳細は、ホームページをご覧ください。
- ・政党懇談会 2021年度は各政党と（自由民主党、公明党、立憲民主党、共産党）懇談会を実施しました。
- ・横浜市保育四団体との連携 横浜市子ども子育て支援部長出席のもと、保育四団体での協議を継続しております。
- ・優良職員表彰 書面ではありますが、優良職員表彰会を開催いたしました。
- ・幼保小連携 幼稚園、小学校との連携を強化しております。
- ・幼稚園との共同事業 ヨコハマ・バーン！の事業を継続しております。
- ・乳幼児一時預かり事業の審査を担当しております。
- ・横浜市子ども子育て会議、横浜市児童福祉審議会については、横浜市のホームページで公表しております。

以上